

自作教材(肢体不自由部門)



利用した場面
「みる・きく・はなす」の「かさじぞう」

効果
お地蔵様の頭の上にスイッチをつけ、笠を乗せると「ありがとう」の返事が返ってくるので、楽しんで活動に取り組める。



利用した場面
「個別の自立活動」

効果
穴の大きさを変えることで、目と手の協応、操作性の向上が図れる。
手元を見て操作できる。



利用した場面
朝の会の天気調べ

効果
晴れ、曇り、雨の違いが、視覚的にも、触覚的にも分かりやすい。
違いがよくわかるようにしたため、大小のカードのマッチングもできる。



利用した場面

「くらしとしぜん」の「ふくわらい」

効果

目・鼻・口にマジックテープをつけ、フェルト地のドラえもんに貼り付けるようにしたので、表情の変化を楽しみながら取り組める。



利用した場面

「うた・リズム」の「ぞうさん」の歌など

効果

サイズを大きくし、鼻が動くようにしたことで、注目できる。

鼻の動きに合わせて、手を動かして活動することができる。



利用した場面

「うた・リズム」の「きょうりゅうとチャチャチャ」の歌など

ポイント

①きょうりゅうのお腹の中にボイスレコーダーを組み込み背中にボタンスイッチをつけた。スイッチを押すと、録音した音声聞こえるようにした。

②手にボタンのついた手袋をはめた。きょうりゅうが手をたたくとカチカチ音が鳴る。

効果

きょうりゅうの口や手の動き、発声に注目し、歌遊びに楽しく取り組むことができる。